

第二〇〇〇回ペン川柳会

令和三年一月二十日

お題 「満・満ちる」

■ 三春 (火酒)

ウオツカ

カモにされ満更でもないヒヒ親父
女狐はカモ捕らえるに満を持す

■ 平尾 (酔深)

すいしん

月満ちて出でたる男児我に似ず
部屋に満つ匂いの元は我にあり

■ 松谷 (零門)

れいもん

満ち足りてさらに欲張り無一文
下手な句も自己満足でいざ投句

■ 西川 (酔雅)

すいが

求めるはむかし満額いま年金
八十路入りまだ満たされず満を持す

■ 塚田 (拿々)

だだ

上司への不平不満で飲み明かす
コロナ禍で閉店の声街に満つ

■ 稲宮 (井波)

いなみ

閉じこもり隣へ疑心満ち溢れ
金撒いた取り戻すぞと満を持し

■ 細谷 (損得)

そんとく

ゴーツォも不平満々ミーツォに
桜見でもめて一年はや満開

■ 八木 (明迷) めいめい

享年は満にしてねと妻がいう
成り行きも長風船で満を持す

■ 浜田 (我々好) ウイスキー

満願にほど遠き日々この一年
わんこそばもう満腹と椀を伏せ

■ 山縣 (安兵衛) やすべえ

わしゃ不満無かったことにあの選挙
せり勝ったわれら満足一〇〇%

■ 安藤 (晃二) てるつぐ

満場立ち拍手は止まず老ベーム
満を持し放たれし矢に屋島湧く

■ 大野 (だし)

常識だ忠臣蔵は満月よ
台風は満ち潮使つて水びたし

■ 曾山 (酪帝) めいてい

八十路でもやる気満々いざ行かん
満ち足りた笑顔も見せて妻に云う

世話人 塚田 實 (拿々) だだ